

ユースケース開発費用

※ 3D都市モデルの整備費は含みません。条件により金額が大きく異なる場合があります。

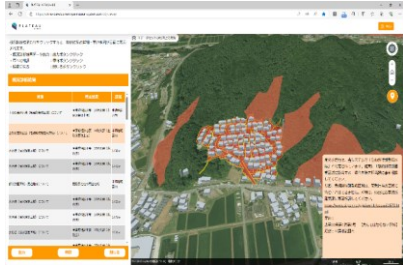
開発許可申請管理システム (まちづくり)

【概要】

土地利用、都市計画、災害リスク等の様々なデータを3D都市モデルに統合し、開発行為の申請・審査を行うシステム

【コスト】

- ・ 1200万円～ (導入範囲、設定規模に応じて)



歴史・文化・営みを継承するメタバース体験の構築等 (地域活性化・観光)

【概要】

3D都市モデルを活用したメタバース空間を制作し、都市の歴史・文化を体験等のコンテンツを提供するシステム

【コスト】

- ・ 1000万円～ (3～5ロケーション)



公園管理システム(インフラ管理)

【概要】

公園インフラの効率的な管理のための3D都市モデルを活用したデータベース及び管理システム

【コスト】

- ・ 応相談 (公園数、施設数、搭載データベース数等により変動)



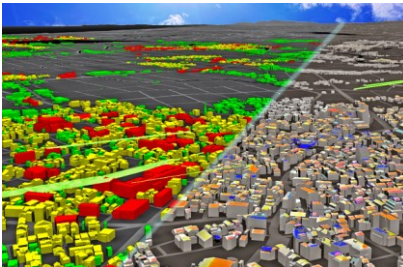
太陽光発電のポテンシャル推計 (環境・エネルギー)

【概要】

広域な太陽光発電のポテンシャル推計(時間当たり、年間当たり)及び反射シミュレーションを行うシステム

【コスト】

- ・ 0～3000万円 (職員が自ら導入～データ整備、機能開発や可視化環境構築により変動)



避難行動立案支援ツール (防災・防犯)

【概要】

住民個人(任意の場所から)の水害・津波襲来時の時系列ごとの避難行動の変移をシミュレーションを行うシステム

【コスト】

- ・ 30万円～ (時系列の水害ハザードマップ(1ケース))
- ・ 150万円～ (避難ルート検索機能(約5km2の場合))



都市の人流等の可視化ツール (環境・エネルギー)

【概要】

都市の現状(人流・交通流等)を3D都市モデル上で再現(見える化)する都市モニタリングソリューション

【コスト】

- ・ 200万円～600万円 (ビッグデータを活用する場合)
- ・ 100万円～1,000万円 (人流センサを活用する場合)



ユースケース開発費用

※ 3D都市モデルの整備費は含みません。条件により金額が大きく異なる場合があります。

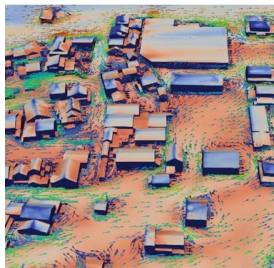
雪害対策支援ツール（防災・防犯）

【概要】

風雪・融雪の影響をシミュレーションし、雪下ろしのタイミングや除雪対策活動の推進を支援するシステム

【コスト】

- 500万円～（風雪・融雪シミュレーションの実施）
- 1000万円（3D可視化ツールの作成（UIによる））



XR観光資源創出ソリューション（地域活性化・観光）

【概要】

3D都市モデルとXR技術を用いて、市民参画型の観光資源を創出するためのシステム

【コスト】

- 1,500万円～（導入時）
- 年額120万円～（運用時）



景観シミュレーションツール（まちづくり）

【概要】

3D都市モデルを活用し、建物の色彩や高さの変更、アセット配置等のシミュレーションを行えるシステム

【コスト】※必要に応じて

- 1,500～3,000万円（PC調達費用）
- 30万円～（導入支援サービス）



延焼シミュレーションツール（防災・防犯）

【概要】

3D都市モデルを活用し、道路拡幅した場合等の各種火災対策を踏まえた火災延焼シミュレーションを行うシステム

【コスト】

- 500～1,000万円（使用条件により変動）



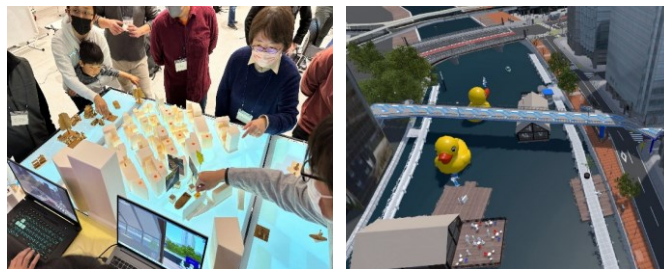
タンジブルインターフェースを活用した住民参加型まちづくり（市民参加・教育）

【概要】

タンジブルインターフェースを用いて、3D都市モデル等のオブジェクトを動かし、VR空間上で表示できるシステム

【コスト】

- 500万円～（ワークショップの実施支援）
- 30万円～（ストリートファニチャー追加制作）



XR技術を活用した市民参加型まちづくり（市民参加・教育）

【概要】

3D都市モデルとXR技術を組み合わせて、市民が直感的に都市開発に参加できるシステム

【コスト】

- 550万円～
- 予算応相談（単発イベント用向けお試しプラン）

